



天高育友会報  
平成25年7月19日発行  
発行 県立天草高等学校育友会  
編集 天高育友会文化広報委員会  
印刷 天草民報社

### 育友会活動への積極的な参加を

育友会会長 松元正治



このたび、百十数年の伝統がある天草高等学校の育友会長という大役をさせていただくことになりましたが、松元でございます。微力ではございますが、本会の目的の達成と子どもたちの目標実現に向けて、楽しく学校生活を送ることができるよう、一年間精一杯努力して参りますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、新年度が始まり既に三ヶ月が過ぎました。これまでには体育大会、県総合体育大会、総合文化祭も終わり、期待と不安の中に入學した一年生も学校生活にも慣れ、三年生はいよいよ進路選択が目前に迫ってきました。それぞれ、夢と希望を抱きながら毎日過ごしているのではないかと思います。

育友会の目的は、会則にもありますように、学校と家庭及び地域社会との連絡を図りその教育活動に協力することにあります。高校の保護者会は中学校までと違って、会員数も多いし、顔見知りの人も少ないかと思ひます。しかし、子どもたちが高校を卒業すると、

育友会のような活動は、ほとんど無くなってしまう、保護者として活躍する機会が少なくなりそうですので、今のように積極的に活動に参加していただきたいと思ひます。

もしかすると、家庭では子どもたちと話す機会も少ないかもしれません。また、こちらから話しかけても、相手をしてくれないかもしれません。でも、お父さんが、三年間毎日軽トラで送迎して、車の中ではほとんど話してくれなくても、卒業式の日、娘さんから「今までありがとう」と言ってくれる保険会社のコマーシャルがあります。子どもたちは普段は感謝の言葉を出さないでしようが、恐らく心の中では、保護者の方に感謝しているし、保護者の後ろ姿を見ていると思ひます。短い高校時代ではありますが、保護者の方々も子どもと一緒に高専生を保護者を楽しんでいただきたいと思います。特に、文化祭とマラソン大会では、多くの保護者の皆様の協力が必要ですので、積極的な参加をお願いします。

子どもたちの将来の目標達成と天草高等学校のさらなる発展のために、学校と連携して共に頑張りましょう。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 国際化社会に向けて

校長 山村清二



今年の五月、本校昭和十六年三月卒業の齋藤光様より、生徒の為にと百万円のご寄付を頂きました。齋藤氏は、東京大学工学部石油科の一期生卒であられ、昭和三十七年にアラビア石油勤務と同時にサウジアラビアに赴任されました。アラビア石油の鉱区はサウジアラビアとクウェー

トとの中立地帯の沖合にあるため、諸事全般利権供与について両国政府の許可を得る必要があるのですが、手続きが煩雑であり、両国の利害相反する件については許可を得るのに大変な苦労があったそうです。昭和六十年には副社長、現地代表となられ、昭和六十三年本社副社長として日本に帰国されました。エネルギー資源のない日本にとって中東の石油獲得は、重要な責務であり、まさに日本の繁栄のために先頭に立ちその一役を担ってこられました。

教育界においては、国際社会で活躍する人材育成が強く叫ばれています。本校の生徒諸君も齋藤氏のように、自ら国際社会の中に飛び込んで活躍できる人材に育って欲しいと思ひます。その教育の一環として、生徒たちに国際的な視野を広げたいという趣旨で、「EUがあなたの学校にやってくる」を五月に開催しました。一方、駐日欧州連合代表部は、将来の日本を担う高校生に直接語りかけることで、EUやその加盟国（今回はデンマーク）の理解、さらには日本とEUの現在の関係について理解を深めてもらい、今後益々EUと日本とのより良い関係を築きたいという意図で企画されています。講師のイエスパー・トムセン大使代理にEUやデンマークの歴史や現状に関する講演をして頂きました。講演の途中には、トムセン氏から質問されたり、逆に生徒諸君からは、報道等で伝えられているEUが抱える経済問題など様々な事柄について質問が生まれ、有意義な質疑応答がなされました。積極的に質問する生徒の中には、英語で質問した生徒もいて、益々グローバル化が進む国際社会の中で、将来は第二の齋藤氏となるような人材が多くなることを実感させられた講演会でもありました。今後とも国際的視野を広げる教育を充実させていきたいと思ひます。引き続き保護者の皆様の本校教育活動に対するご理解とご協力をお願い致します。

## 熊本県立天草高等学校入学式

# 第68回生祝入学式



### 総代宣言

鮮やかな新緑の芽吹きが感じられるこの良き日に、私たち全日制課程二四二名は、伝統ある天草高等学校に入学できましたことを大変嬉しく思ひます。

本日は、私たち新入生のためにこのような盛大な式を挙げていただきまして、新入生を代表して厚く御礼申し上げます。今、私たちは将来の夢へと続く第一歩を踏み出し、希望に燃えています。

これからの高校生活の中で、様々な出来事があるかと思ひますが、それを乗り越えていく力をこの天草高校で身につけ、自らが目指す夢に向かって進んでいきたいと思ひます。

そのためには、学業はもちろん、部活動等にも力を注ぎ、「求志成」の言葉のもと文武両道を目指します。

また、新たな出会いの中で多くの友を作り、充実した高校生活を送りたいと思ひます。

先生方、先輩方には、ご迷惑をおかけすることや、お力を借りすることもあるかと思ひます。

その時にはどうか、あたたかくご指導くださいますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、校長先生から頂いたお言葉や、来賓の皆様から頂く、たくさんのお励みのお言葉を胸に、日々努力し、天草高校の名に恥じず生徒になることを誓ひ、宣誓の言葉といたします。

平成二十五年四月八日  
全日制代表 荒木隆也

### 「集団宿泊研修」を終えて

一学年主任 瀬崎昌仁

入学式および対面式を終えた四月十日と十一日の二日間、一年生二四二名は天草青年の家において集団宿泊研修を行いました。中学生から脱却し、高校生になることを目的に集団行動訓練を皮切りに授業の受け方、学校生活全般について、関係の先生方からの講話をして頂きました。

とても緊張した面持ちで学校を出発した生徒諸君も、入所式を終え集団行動訓練を行う頃には、笑顔で会話しながら元気に取り組む姿がみられるようになりました。

生徒諸君の不安の中で多かったのは、八割以上が高校の授業について行けるかどうかということでした。研修の中で最も力を入れたのは高校での授業の受け方でした。授業に対する予習の方法を中心に、ノートの作り方・予習及び復習の内容などを丁寧に説明をしました。今後の授業に活かして欲しいと期待していますし、指導も続けていきたいと思ひます。

生徒諸君はいろいろな学校行事を経験しながら天草高校の生徒へ成長をしていくと思ひます。保護者の皆様も温かく見守り、応援して頂ければと思ひます。今後ともよろしくお願い致します。

### ようこそ一年生

## 集団宿泊研修

